

脳卒中・脳神経内科初期研修

◇ 研修目標および特徴

急性期脳梗塞患者について、救急来院時から退院（転院）までの診療の流れを経験し習得すること。

新・内科専門医制度のカリキュラムに沿って、神経疾患の診療を経験すること。

◇ 研修内容（方略）

- 1) 脳梗塞急性期に必要な病歴を正確に聴取できること。
- 2) 脳梗塞急性期の神経学的所見(意識レベル、運動・感覚障害、脳神経症状、失調、高次機能障害)をとれるようになること。また、その所見と病巣局在との対応が考えられるようになること。
- 3) 各種画像診断との組み合わせにより、ラクナ梗塞、アテローム血栓性梗塞、心原性脳塞栓症、その他の病型分類ができるようになること。
- 4) 各種検査に参加すること。
- 5) 各種病型に応じた治療(安静度、輸液、投薬)を学ぶこと。
- 6) 急性期に引き続く後療法（動脈硬化危険因子の管理を含む）を選択できること。
- 7) 後遺症の判定と家族との関わり合いの中で急性期加療後の方針が立てられること。
- 8) 神経変性疾患などの慢性疾患の治療方針を経験し習得する。
- 9) 経験した神経疾患の診療レベル到達度を自己評価できる。

◇ 指導責任者

橋本 弘行

◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	回診（週末入院患者）、病棟	回診（全入院患者）、病棟
火	回診（前日入院患者）、病棟	病棟
水	回診（前日入院患者）、病棟	病棟
木	回診（前日入院患者）、病棟	病棟
金	回診（前日入院患者）、病棟	病棟 脳卒中・脳神経内科ミーティング

◇ 評価方法

- (1) 各研修医は研修到達度の自己評価を PG-EPOC に入力する。
- (2) 研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する。